

広報

2011
(平成23年)



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

10

No. 602



まちひと百景

豊穰の秋

九重地区で実施された九重第一利用組合による稲刈りの様子。

最近は雨が多く、ときにはゲリラ豪雨かと思われるような雨が降り状況が心配されたが、今年は春から夏にかけての降雨が少なかったこともありなかなかの出来映えではとのこと。

農家の皆さんの苦勞がいっぱい詰まった稲穂は首(こうべ)を垂らし、収穫されるのを今や遅しと待っているように見えた。

- 夏休み学びの寺子屋ほか…2
- 古丹別保育所夏祭りほか…3
- 小学校体育大会ほか…4
- 第2回とままえ水泳競技会ほか…5
- 健康ばんざい…6
- 介護保険ガイド…7
- 国民年金・文芸…8
- 学びの広場…9
- H22健全化判断比率等…10
- 住まいる情報…11
- 中学生ギャラリー…12

今月発行予定の議会だよりNo85は、会期の都合により、11月号に掲載いたします。

まちの人口

人口/3,585人(男/1,702人:女/1,883人)
世帯数/1,638世帯 (9月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

課題が早く終わり参加者もニッコリ ～夏休み学びの寺子屋～



夏休みを利用して児童・生徒の休み中の課題や苦手科目の克服を目的とした「夏休み学びの寺子屋」が8月10日～12日の3日間、苫前地区はとままえ温泉ふわたつと、古丹別地区は町公民館で開催、両会場あわせて延べ35名の小中学生が参加した。本年度から採用し両地区の学校に配置している学校教育支援員2名と小学校・中学校の教員数名が児童・生徒の学習をサポート、わからない部分の指導や解説などを行った。

参加した児童・生徒も「わからないところを丁寧に教えてくれて良かった」「冬休み中もあつたら参加したい」とアンケートでは好評だったことから、町教育委員会では冬休み中の開催や今後の学習サポート体制などについて協議・検討していくようだ。

苫前町戦没者追悼式



戦後66年を迎えた8月19日(金)とままえ温泉ふわたつとで戦没者追悼式が挙行され、肉親を亡くした遺族、来賓などあわせて約60名が参列した。

166柱の戦没者名簿を献上した後、森町長は「今日の平和と繁栄が、戦没者の尊い犠牲により培われたことを心に刻み、戦争の愚かさを若い世代に語り継いでいく。本町も様々な試練に直面しているが、この苦難を乗り越え、素晴らしいまちをつくりあげていきたい」と挨拶述べた。

この後、献花が行われ、犠牲となった肉親の冥福と、戦争のない世界の実現のため祈りを捧げていた。

また、この前段には町遺族会(森晃一会長)による招魂祭が苫前神社で執り行われた。

北海道教育委員会の移動教育委員会で本町を視察



北海道教育委員会の移動教育委員会が8月23日(火)に行われ、古丹別小学校(高谷典義校長)6年生の学社融合事業「風車見学」及び地元産品を使った給食メニューの試食を行った。これは、道民に開かれた教育行政の推進を目的に年1回実施しているもので、神谷奈保子教育委員長ほか関係者約20名が上平ウインドファーム内で児童と一緒に風車の中の構造や児童が風車に関して事前学習し疑問に思ったことを質疑応答する様子を見学した。

古丹別小学校に場所を移し、「苫前食べようDAY」の献立である「苫前産小麦「春よ恋」の潮風うどんを使った冷やしたぬきうどん、メロンなどを各クラスの子と交流した。

ヒラメ人工種苗放流式



北海道栽培漁業振興公社、北るもい漁協、留萌開発建設部などの協力で行っているヒラメ人工種苗放流式が8月26日(金)苫前漁港で、苫前保育園(青木久美子園長)と古丹別保育所(川森のり子所長)の年長組あわせて18名が参加し行われた。

園児たちは港湾業務艇ゆりかもめに乗船、苫前港付近を見学した後、放流式に参加、竹内勝副町長から「ヒラメは刺身や寿司ネタなどに使われる高級な魚です。稚魚が大きくなるのを祈りながら放流してください」と挨拶した後、7センチほどに成長した稚魚約300匹を小さなバケツに数匹ずつ海に放した。園児たちは「大きくなつてね」と声をかけながら、心配そうに稚魚をいつまでも見守っていた。

救難所夏季訓練



苫前救難所(川村信介所長)の夏季訓練が8月27日(土)に苫前漁港で行われ、所員21名が救助・消火などの手順を確認した。

川村所長は「本日の訓練、事故のないよう気をつけて実施してほしい」と述べた後、帰港中の漁船の機関室で火災が発生、負傷者がいる想定で行われた訓練では、救命さく銃の発射、ゴムボートによる負傷者の救出、ポンプ機を積み込んだ漁船による放水などを本番さながらで実施、所員も万々に備え真剣に訓練に取り組んでいた。

この後、場所を市場に移し、海上災害防止センター職員によるAED(自動体外除細動器)を使った心肺蘇生法と救命胴衣などについて学習した。

「去りゆく夏を楽しむように」～古丹別保育所夏祭り～

8月27日(土)古丹別保育所(川森のり子所長)園庭で、同保育所母の会(伊藤幸代会長)主催の夏祭りが開催され、園児や保護者のほか地域住民などが多数集まり、夏のひとときを楽しんだ。

子ども達に盆踊りを楽しませたいというきっかけで始まったこのお祭りは、すでに20年以上実施されており、古丹別市街の住民にはお馴染みのイベント。

この日も、子ども達の大好きなおもちゃ釣りや輪投げなどの遊びの出店やわたあめ、フラッペなどの食べ物の出店のほか日用品のフリーマーケットやメロン、ブロッコリーなど野菜の出店も行われ、子どもだけでなく、大人も楽しんでいました。



「シャキシャキ感がいい」～町ハマボウフウ研究会によるオカヒジキ試食会～



町ハマボウフウ研究会(鎌田孝会長)が町内で生育を進めているオカヒジキの試食会が8月29日(月)にとままえ温泉ふわつとで開催された。

この試食会には、研究会メンバーのほか、町北の漁協、苦前支所、商工会のほか、種から栽培に協力した町農協女性部など約40名が参加。オカヒジキのなめ苜あえナムルのほか、古丹別川河口の復元区域等で生育しているハマボウフウの天然物と上平の燻で育成している栽培物の天ぷらも試食した。

参加者は「オカヒジキのシャキシャキ感がいい」「ハマボウフウは栽培物に比べ、天然物の方が風味がある」と感想を述べていた。

午後からは古丹別川河口復元区域で海浜植物のモニタリング調査が行われ、植物種目や自生数などを調べた。

平成23年度留萌管内町村議会議員研修会が本町で開催

留萌管内町村議会議員の資質向上を目的に毎年開催している研修会が8月31日(水)に本町で開催され、留萌市を除く増毛町から天塩町までの議会議員約80名が参加、研鑽を深めた。

開会の挨拶で留萌管内町村議会議長会の星野恭司会長は「過疎化、少子高齢化、長引く不況による財政状況悪化している中、住民の付託に応えるためにも、先を見通す力が必要」と述べた。

留萌振興局の竹谷千里局長、森町長の祝辞のあと、北海道町村議会議長会事務局長の勢旗了三氏より「議会の諸相と議会改革」と題して講演が行われた。議会制度の改正や議会改革の諸事例などを説明、参加した議員も熱心に耳を傾けていた。



のびのびサークル「野菜狩り」



就学前の子どもと親を対象に、家庭における育児の意識向上を図り、子育てに必要な学習と遊びの機会を提供することを目的に開催しているのびのびサークルの「野菜狩り」が9月1日(木)に長島で農業を営んでいる安藤輝美さん宅で行われ、9組18名が参加した。

安藤さんのお宅ではトマト、なす、インゲン、きゅうりやゴーヤも栽培に参加した親子は直接手やハサミを使い、野菜のもぎ取りを体験した。中にはもぎたてのトマトをそのまま口に運ぶ子どもも見られ、保護者も野菜のもぎ取りを楽しんでいた。

ひと通り野菜狩りを楽しんだ後は、安藤さん宅でスイカが提供され、残暑の中、野外で親子共々食べるスイカの味は格別だったようだ。

「化石への関心を高めるために使ってほしい」～千歳化石会化石寄贈～

9月3日(土)町郷土資料館で千歳化石会から化石の寄贈があった。

千歳化石会では、平成9年頃から本町の霧立地区で化石調査等を実施してきており、その年にはクビナガリュウの化石も発掘され、本町に寄贈されている。それ以降も調査で毎年入山していることや、以前寄贈した化石が古くなってきたことから今回の寄贈となった。

千代川謙一名誉会長ほか3名から標本ケース1つ、直径40センチほどのアンモナイトほか単体の化石5点がこの日、伊藤通康教育長に寄贈された。

千代川名誉会長は「子ども達の化石への関心は高い。化石に触れてもらうことが重要なので、苦前町でもそのような機会を作っていたらいい」と述べた。



平成23年度 苫前町小学校体育大会



9月1日(木)苫前小学校グラウンドで苫前町小学校体育大会が開催され、苫前・古丹別小学校の4年生以上85名が参加した。伊藤通康教育長が「普段の体育、少年団活動を通じた成果を發揮し、頑張つてほしい」と述べた後、苫前小学校6年生の安達優香さん、古丹別小学校6年の成田凌くんが選手宣誓で競技が開始された。

競技は、100メートル、800メートルなど5種目のトラック競技、走り幅跳び、ソフトボール投げなど3種目のフィールド競技で行われた。

今大会では新記録の達成はなかったが、両校応援の声響く中、熱い競技が繰り返された。

岩村直幸校長は「自分の力は競い合うことで強さも弱さもわかる。一生懸命頑張つたことは思い出しに残り、生きている素晴らしい出来を体感できたと思う」と講評を述べた。

種目	氏名	校名	記録	種目	氏名	校名	記録			
100m	4年女子	堀井 幸子	苫小	18'93	走り幅跳び	4年女子	倉田 茉佑	古小	2m58cm	
	4年男子	野村 優大	古小	17'24		4年男子	合田 裕亮	古小	3m03cm	
	5年女子	佐井 悠那	苫小	17'77		5年女子	佐井 悠那	苫小	2m66cm	
	5年男子	工藤龍之介	古小	15'95		5年男子	矢田 剛琉	古小	3m27cm	
	6年女子	檜森 香澄	古小	16'00		6年女子	木藤 優花	古小	3m19cm	
	6年男子	千葉 大翔	苫小	16'21		6年男子	永井 壱聖	古小	2m80cm	
800m	4年女子	倉田 茉佑	古小	3'28'99	走り高跳び	5年女子	猫島 菜央	古小	0m90cm	
	4年男子	西 志尚	古小	3'03'19		5年男子	横野 稜平	苫小	1m14cm	
1000m	5年女子	黒田 侑里	古小	4'53'36		6年女子	岩田 来千	苫小	1m05cm	
	6年女子	年代 結香	古小	4'19'02		6年男子	千葉 大翔	苫小	1m20cm	
1500m	5年男子	伊藤 行平	古小	6'12'13		ソフトボール投げ	4年女子	堀井 幸子	苫小	16m97cm
	6年男子	平井 廉	古小	5'58'73			4年男子	野村 優大	古小	40m72cm
400mリレー	古小	西村 歩優・杉野 佳奈 木藤 優花・檜森 香澄	古小	1'13'77	5年女子		星野 汐音	苫小	20m39cm	
	古小	西 志尚・矢田 剛琉 川森 大夢・鈴木 愛斗	古小	1'07'73	5年男子		工藤龍之介	古小	41m25cm	
					6年女子		檜森 香澄	古小	32m94cm	
					6年男子		鈴木 愛斗	古小	52m76cm	

(各部門の第1位のみを掲載)

第34回苫前町民マラソン大会

9月11日(日)スポーツセンター周辺において第34回苫前町民マラソン大会が開催、1kmから5kmまでの4種目の中の親子の部から一般の部までの17部門が行われ、約155名が参加した。

晴天に恵まれ絶好のマラソン日和となった大会では、町体育協会の平田日出男会長からの挨拶のあと、苫前小学校6年の千葉大翔くん、古丹別小学校6年の鈴木愛斗くん、苫前中学校2年の成川霞さん、古丹別中学校2年の尾泉拓くんの4名の選手宣誓で競技が始まった。

また、今回は前日に行われたアスリートとの交流事業で来町していたレーザーラジアル級ヨット世界選手権日本代表の松苗幸希さんとプロフットサルチームエスポラーダ北海道の上田雅章さん、吉田順省さん、阿部恭也さんの4名がこの日の大会に参加、各部門に分かれ参加者と一緒に走った。

小学生の部ではスタートダッシュで先頭を争う姿が、親子の部では急ぐあまり転倒してしまうハプニングもあったが、参加者は少しでも早くゴールしたいという意気込みが表れていた。

同大会では2部門で大会記録を更新した(太枠が大会記録)。大会の結果については次のとおり。

種目	部門	氏名	タイム	種目	部門	氏名	タイム
1km	親子の部	後藤 大和博	5'09'40	2km	小学4年女子の部	池田 朱桜	8'26'84
		後藤 博			小学5年女子の部	猫島 菜央	10'30'79
	小学1年男子の部	鈴木 恋斗	4'59'22		小学6年女子の部	渡部 京佳	9'40'50
	小学1年女子の部	土田 怜奈	5'05'76		小学5年男子の部	伊藤 行平	12'38'68
	小学2年男子の部	平井 憲吾	4'04'21		小学6年男子の部	川森 大夢	12'27'94
2km	小学2年女子の部	清水 音寧	4'37'56	3km	中学生女子の部	村上 葵	15'22'08
	小学3年男子の部	瀨川 永夢	8'31'26		一般女子の部	正田 真琴	18'07'08
	小学3年女子の部	高田 佳歩	9'01'58		中学生男子の部	旭 一向	22'07'81
	小学4年男子の部	西 志尚	8'00'14		一般男子の部	蓮見 一輝	20'22'34

(各部門の第1位のみを掲載)

第2回とままえ水泳競技会



苦前水泳少年団育成会主催の第2回とままえ水泳競技会が9月4日(日)にB&G海洋センターで開催された。本来であれば、留萌市など近隣の水泳少年団の参加も予定されていたが、台風12号の接近に伴う通行止めなど懸念されたことから、町内のみ競技会となった。同少年団育成会の渡部江利子会長より「日頃の練習の成果を発揮し、ケガなく楽しく頑張ってください」と挨拶の後、能戸菜緒佳さん、渡部京佳さん、木藤優花さん、林寿実さんによる選手宣誓で競技がスタートした。気温とは反比例に子ども達の頑張りとお応援する父母の声

種目	氏名	学年	タイム	
ビート板キック	倉田 空	3年	35'70	
背泳ぎ25m	小学1・2年男子	橋場 星宙	2年	45'81
	小学3・4年男子	田井脩太郎	4年	27'59
	小学3・4年女子	北川さくら	3年	31'52
	小学5・6年女子	渡部 京佳	6年	24'85
自由形25m	小学1・2年男子	橋場 星宙	2年	28'82
	小学1・2年女子	杉下 優奈	2年	34'76
	小学3・4年男子	橋場 吏玖	4年	24'16
	小学3・4年女子	北川さくら	3年	26'82
	小学5・6年女子	渡部 京佳	6年	17'61
自由形50m	小学1・2年男子	橋場 星宙	2年	1'07'38
	小学3・4年男子	柴田 太一	3年	55'26
	小学3・4年女子	北川さくら	3年	1'10'98
	小学5・6年女子	渡部 京佳	6年	42'08
100mリレー	能戸菜緒佳・渡部京佳・木藤優花・林寿実		1'18'64	

(各種目の第1位のみを掲載)



援による熱気あふれる大会となった。結果は次のとおり。

平成23年度「少年の主張」全道大会で永井星奈さんが第2位に入賞



9月2日(金)に札幌市で開催された「平成23年度少年の主張全道大会」で、全道14の総合振興局や振興局地区及び札幌市から選抜された16名主張発表の中から、留萌地区の代表で出場した本町の永井星奈さん(古丹別中学校1年生)が第2位にあたる優秀賞(北海道教育委員会教育長賞)を受賞、快挙を達成した。出場者は2年生と1年生が1名ずつ、他は全員3年生。観客もほぼ席が埋まる中、永井さんも「観客の方みんなに伝わるように話すことができた」と振り返った。代表決定後も東日本大震災に関する資料を読み、伝えたいところは感情移入するよつメリハリをつけるなど工夫や発声練習を実施した成果が発揮され、講師でも審査委員長が「強く生きるの決意が見られ、すばらしい」と賞賛した。

JA苦前厚生クリニックよりお知らせ

皮膚科の外来日は、

10月…6日(木)、20日(木)
11月…17日(木)

受付
13時~16時15分



大変混み合いますので、電話予約をお願いします。不明な点はお気軽におたずね下さい。

JA苦前厚生クリニック(☎65-3535)

勝野晶子さんがJICAでトンガへ

本町の留萌地区農業共済組合に獣医師として勤務している勝野晶子さんがJICA(独立行政法人国際協力機構)で実施の海外青年協力隊の隊員として2年間トンガへの派遣が決まり、9月15日(木)関係者とともに森町長を表敬訪問した。勝野さんは「トンガには獣医師がいなくて、動物の助けを必要とする意欲を述べた。



地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました



町道鳴泉橋線の草刈 ~株式会社堀口組~

羽幌原野古丹別(停)線改築工事を実施している株式会社堀口組(堀口亘代表取締役社長)が9月14日(水)に町道鳴泉橋線の道路脇の草刈を地域社会貢献事業で実施した。

夏季の良い天候と最近の雨により道路脇の雑草も伸びており、ところどころ車道にはみ出している部分も見られ、車など走行の妨げになっていました。

今回草刈をしていただいたお陰で見通しも良くなり安心して走行することができるようになりました。ありがとうございました。

健康ばんざい

『いつまでもはつらつと』

今月の担当は加藤保健師です。

年を重ねていくと人の身体や心の状態は変化していきます。その変化を受け入れながら、いつまでも自分らしく生活できるように生活習慣を見つめ直し、必要であれば改善を心がけることが必要です。

☆はつらつ生活のためのポイント☆

- ・外出の機会がある活動的な暮らし
- ・運動などで体力・筋力の保持増進
- ・治療中の病気を悪化させない、新しい病気にならないよう健康管理
- ・チェックリストなどを活用し、介護が必要になる要因の早期発見

町では、右記のポイントを具体的にどのように実施したらよいかを一緒に考えたり方法を伝えるために介護予防事業を行います。

☆今後実施予定の事業

すでに回覧で案内しているものもありますが、他も開催が近くなりましたら回覧等でご案内しますので、ぜひたくさんの方の参加を

苫前町家族交流会

日時：11月9日(水) 13時～
場所：苫前町役場
内容：心の病を抱える方の家族が集まり、互いの悩みや気持ちを話し合うなどの交流をします。
1回あたり2時間程度を予定しています。

町民課けんこう係(☎64-2215)

また、何か不明な点、ご相談がありましたら窓口の苫前町地域包括支援センター(苫前町役場町民課内☎64-2215)までご連絡ください。

- **寿いきいき教室**
時期 10月～3月 (月2回程度)
- ・ 対象 65歳以上の方
- ・ 内容 運動実技、お口の健康、その他
- **介護者家族の集い**
・ 介護技術なども取り入れていきます。

お待ちしています。

＋Dr.小野の処方せん

めまい症

めまいを起こす病気には①メニエール病、②良性発作性頭位めまい症、③脳血管障害、④その他などさまざまなものがあります。物が回って見える、揺れて見える、目がかすむ、目の前が暗くなって頭がくらくらするなどの感覚を「めまい」と言います。

情報を察知する耳や眼、情報を処理統合して全身に指令を出す脳、これらのどこかに障害があるとバランスを崩してしまい「めまい」が起こります。

①メニエール病は、耳の内耳は外リンパ腔、内リンパ腔という空洞になっていて、内リンパ腔はリンパ液で適度に満たされていますが、何かの原因で量が過剰に増え、内リンパ腔が膨らむと内耳の働きを傷害し、めまい、難聴、耳鳴りを起こします。

②良性発作性頭位めまい症は、頭の向きを大きく変えることで内耳の神経が刺激され、めまいを起こすこともあります。

③脳血管障害は、手足のしびれ、麻痺、ろれつが回らないなどの症状が表れることがありますが、激しい頭痛がある場合は緊急を要します。

④その他では原因不明のめまい症もあります。



医療法人社団オロロン会
苫前クリニック

院長 小野 哲郎 ☎64-9070

男前料理教室「手打ちうどんに挑戦」

日時：11月12日(土) 10時～13時
場所：苫前町公民館
内容：手打ちうどん、大根のさっぱり漬けなど
申込み：11/2までに役場町民課栄養士へ。
(☎64-2215)



苫前町食生活改善協議会

『かかりつけ薬局』を持ちましょう

『かかりつけ薬局』とは？

自宅の近くやいつも行く商店街の薬局など、いつも利用する薬局が決まっていることを「かかりつけ薬局」といいます。どこに通院しても同じ薬局で調剤を受けることが大切です。気軽に相談でき、信頼できる「かかりつけ薬局」を決めましょう。

『かかりつけ薬局』のメリット

あなたの薬歴(服用の記録)をつくり、薬をわかりやすく説明します	薬(市販薬含む)の飲み合わせ(相互作用)や重複がないか確認します
体の不自由な方には、自宅へ出向き薬や介護用品の相談もします	休日・夜間などいざという時に相談できます

『おくすり手帳』を持って、有効活用しましょう！

おくすり手帳は薬局でもらうことができます。おくすり手帳には飲んでる薬等を記録、薬の重複や飲み合わせでの副作用を防止できます。必ず毎回医師、歯科医師、薬剤師に見せ、市販薬を買った時にも記録するなど、上手に使って有効活用しましょう。

留萌保健所